

(法第28条関係)

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

特定非営利活動法人 N E X T しらかわ

1 事業の成果

「白河未来研究室事業」

白河市北堀切30-2アヴァンツァート新白河105白河未来研究室において、小学生から高校生までの第三の居場所づくり・学習支援・生活支援を行いました。児童計1022名、保護者380名の利用がありました。家でもない、学校でもない第三の居場所として学校開放日の放課後毎日開放し、ボランティアスタッフによる子どもの学習支援、見守り支援が実施されました。

「みらい子ども食堂」

子どもの孤食、貧困問題の課題解決並びに自分の力で調理し、生き抜く力を身に付ける事を目的にみらい子ども食堂を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催は難しい状況となりました。感染者の状況を見ながら、弁当配布と配食を切り替えながらの開催でした。ふくしま子ども食堂ネットワークからの食材支援等もあり、約400世帯にフードパントリー形式で食材配布ができました。

「子ども宅食事業」

大阪コミュニティ財団山口淑子基金を活用し、白河市内のひとり親23世帯に11回、計450食を直接配布いたしました。交通事情や保護者の仕事の関係で子ども食堂に来ることが出来ず、支援の手が届かなかったところまでカバーできました。中には夜間に母親が不在で、ひとりで過ごす小学生もおりました。食事の充実という栄養面の課題だけでなく、子どもの見守りの意味でも一定の成果を残すことができました。

「サッカースクール Viva Jr's」

スポーツを通じた子どもの育成の為、サッカースクールを4月～10月まで、白河市中田総合運動公園で毎週月曜日に開催しました。クラブチームなどのように、勝つための練習ではなく、男の子も女の子も一緒に楽しみながら心と体を鍛え育成するスクールとして活動しました。新型コロナウイルス感染症の影響により今年度を持って活動停止します。

「朝活しらかわ！ゼロからマルシェ」

福島県サポート事業を活用し、地元飲食店と共に大型のトレーラーハウスを使用したマルシェを実施しました。市内4か所に計12回、即席のマルシェ会場を展開しました。のべ2160名の来場があり、まちの活性化に貢献できたと感じています。

「フードパントリー事業」

赤い羽根共同募金助成金、認定NPO法人しんぐるまざあずフォーラム助成金、NPO法人わくわく（厚生労働省基金）を活用し、フードパントリーを実施しました。合計1640世帯、11団体に日用品と食材を配布いたしました。

「NEXT ママサポート事業」

令和3年度福島県地域で支える子育て推進事業補助金を活用し、子育てに悩む母親の相談事業を実施しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
④地域コミュニティ醸成事業	子どもの居場所づくり	4月1日～3月31日	白河未来研究室	8人	1402人	2988
④地域コミュニティ醸成事業	みらい子ども食堂	4月1日～3月31日	白河未来研究室	10人	157人	380
④地域コミュニティ醸成事業	子ども宅食事業	4月1日～3月31日	白河未来研究室	6人	450人 (23世帯)	700
⑦青少年の健全育成スポーツの普及・振興に係る事業	サッカースクール Viva Jr's	毎週月曜日	中田総合運動公園 アナビースポーツプラザ	4人	24人 (生徒数)	700
⑭その他本法人の目的を達成するために必要な事業	朝活しらかわ！ゼロからマルシェ	5月8日～3月20日	白河市中田、新白河、池下、西郷村裏山南	24人	2160人	4354
④地域コミュニティ醸成事業	フードパントリー事業	5月8日～3月20日	白河未来研究室	20人	1908人	3817
④地域コミュニティ醸成事業	NEXTママサポート(母親支援)	9月1日～3月31日	白河未来研究室	6人	80人	850

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	支出額 (千円)
実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし